

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

特別支援学級

道徳

B3 思考を深める学習

教員と児童生徒

2 概要

- ①教師が見せた見本のそうじの仕方が正しいか、ポジショニングを使って自分の考えを示す。
- ②写真のそうじの仕方が正しいか考え、発表ノートを使って間違えていると思うところに○をつけて教員に提出する。それをテレビに映し、全体で考える。
- ③雑巾の正しいそうじの仕方を映像で確認する。
- ④実際に雑巾がけしている様子をテレビに映し、皆できているかを確認し、正しい雑巾がけの仕方を身に付ける。

単元(題材)名

心をこめてしっかりそうじをしよう

単元(題材)目標

働くことのよさを知り、みんなのために働こう。

活用したICT機器、アプリケーション等

教師用タブレット・児童用タブレット・掲示用テレビ
SKYメニュークラウド:ポジショニング・発表ノート・カメラ

本時のめあて

心をこめてしっかりそうじをしよう

写真・記録

写真のほうきのはき方で間違っていると思う所に○をつけて提出してもらったもの。



本時の展開の概要

今月の生活目標「心をこめてしっかりそうじをしよう」に向けて、「心をこめる」とはどういうことか、「しっかりとそうじをする」とはどういうことかを考え、練習し、実践していく。

児童生徒の様子(成果や課題)

ICT機器の活用でねらった効果

- ①②ポジショニングや発表ノートを使うことで積極的に発言できない児童も自分の考えを示し易くなる。
- ③④座席からは見え辛い雑巾のかけ方を映像で流すことによって見えやすくする。また、③は自分のタブレットで流すことでテレビよりも注目して映像を見ることができると。

- ①②は狙い通り、すべての児童が自分の考えを示すことができた。
 - ③④は集まることなく、それぞれの座席から確認することができた。ただし、④はテレビに映したのでテレビに注目するように声かけが必要だった。
- 全体を通して、ICT機器の活用でねらった効果は発揮させることができたように思う。
- しかし、タブレットの起動からログイン、操作の仕方など、活用に至るまでの準備に時間がかかる。活動を通して反復し、児童にやり方を浸透させる必要を感じた。

狭山市立柏原小学校 名前: